

Hachioji MAIL NEWS



輸送サービス労組八王子地本



ホームページ

2024.03.05

No.112



Twitter

申17号

提出！

大月駅での乗務員による211系分割・併合作業の 安全・安定輸送の確保に向けた緊急申し入れ

2024年3月ダイヤ改正より、大月駅での中央本線から富士急行線へ直通する211系普通列車の分割作業及び富士急行線から中央本線へ直通する211系普通列車の併合作業を乗務員のみで行う旨が支社より提案されました。八王子地本は、申第14号「2024年3月ダイヤ改正に関する申し入れ」を提出し団体交渉を行い、併合時に富士急行線運転士が誘導信号機の現示に従い停止位置である「誘在3」まで移動後、運転士が入換通告合図・入換合図を出し併合する作業について『駅との打ち合わせなしに行える根拠』を議論しました。会社は「根拠については持ち合わせていない」と回答しつつも議論を継続しようとしたことから交渉を一時中断しました。



交渉再開後には「駅には事前に運転士が入換合図を出すことを伝えてあるので問題ない」と回答し、入換合図を出す運転士と駅信号との連絡手段が車載の乗務員無線しかないことについても「問題ない」と回答しました。このような会社姿勢から、これまで駅とJETS社員の計3人で実施していた分割・併合作業を乗務員1人だけで行わせるという効率化を目的とした施策であり、安全・安定輸送の確保に向けた意識が欠落した施策であることが露呈しました。職場で働く組合員からは「入換合図の拡大解釈である」「納得のいく説明ができないならば現行通りの作業に戻すべき」等と施策実施ありきの会社姿勢に不満の声が多く出されています。

これまで通り駅社員・乗務員・JETSの社員が与えられた任務を全うし、安全・安定輸送の確保に向け、下記の通り申し入れますので、会社の真摯な回答を要請します。

申し入れ項目

1. 分割・併合作業を行う際は、その駅を熟知した駅社員が立ち合い、入換合図を出すこと。
2. これまで211系分割時には、分割後入区になる車両を小移動させ分割作業を行っていたが、ダイヤ改正後に小移動することなく分割作業を実施する根拠を示すこと。また、確実な分割・併合作業を実施する為にJETS社員が立ち合い、最終確認を実施すること。

安全・安定輸送確保に向けた体制を求めます！